



KAMAKA

012

The Kamaka Kids Ukulele Ensemble

ウクレレをひいてみよう!



Let's play the ukulele!

ハワイ生まれのウクレレは、やさしい音色の弦楽器^{げんがつき}。今回の課題曲は、『ザ・マンモス・ソング』です。ウクレレのひきかたを教えてくれるのは、ミュージシャンの松井朝敬^{かだいきよく}さん。ひきかたのコツをまなんで、親子で楽しく演奏してみよう!

ザ・マンモス・ソング The Mammoth Song

作詞・作曲／エリック・ジェイコブセン

Intro. C F C Am G C A C

You can learn from a book. You can

learn from a tree. You can learn from your grand-ma. You can learn be-ing free. Use your

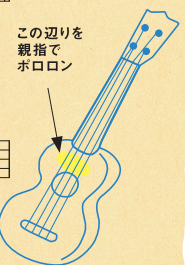
hands, use your nose, use your head, use your toes~! Paint a

pic-ture of your fu-ture play to learn at mam-moth school.

B Mam-moth mam-moth mam-moth school! Mam-moth mam-moth

school! I will meet you at the mam-moth school.

See you at the mam-moth school!



左手指番号



Ukulele Skills

ウクレレのひきかたのコツ



1. ウクレレを持ってみよう

最初は慣れるまでひざの上にウクレレをのせ、ウクレレが動かないように右ひじでかかえるようにして持ちます。人差し指のつけ根でウクレレのヘッドを支えましょう。

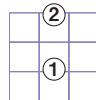
3. メロディをひく前に

「ザ・マンモス・ソング」はハ長調で作曲されています。左手の指番号に注意しながらきれいな音が出るようにしましょう。ドレミのポジションを覚えたら、「ド・レ・ミー・ミ・レ・ドー」とドレミで歌いながらメロディをひいてみましょう。

4. コードをひいてみよう

明るい響きのメジャー・コード「C（シー）・F（エフ）・G（ジー）」、暗い響きのマイナー・コード「Am（エー・マイナー）・Em（イー・マイナー）」の、5つのコードが出てきます。まずはおさえかたをおぼえましょう。

Em7



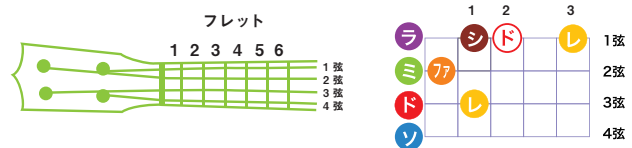
手が小さいと、Em は少し難しいかもしれませんが、「Em7（イー・マイナー・セブンス）」で代用できます。指の腹の部分でおさえるときれいな音が出ないので、指を立てておさえます。右手は、親指で大きくてハリのある音が出るように、元気よくコードをひきましょう。

5. リズムを感じよう

まずはコードが変わるタイミングにきれいな音が出るように練習しましょう。上手にできたら4/4 拍子「1・2・3・4」に合わせて、親指で規則正しいリズムでひいてみましょう。途中13小節目だけ2/4拍子に変わります。この小節だけ「1・2」のリズムで、次の小節からは4/4 拍子に戻ります。上から下に「ダウン・ストローク」です。

2. ドレミをひいてみよう

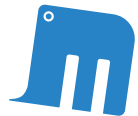
音符の色とおさえる弦の場所が同じです。左手で、1フレット・ファは人差し指、2フレット・レは中指、3フレット・ドは薬指で弦をおさえます。ラ・ミ・ド・ソは、弦をおさえずに、右手親指でそれぞれ下に向かって、やさしくひくようにしてひきます。



6. 合奏してみよう

さあ、メロディとコードをおぼえたら合奏です。お子さんはメロディ、お父さん、お母さんは伴奏のコードを、お互いまちがえてもひきなおさないように、リズムどおりひけるように練習しましょう。何度もまちがえるところは、合奏する前によく練習しておきましょう。ひけるようになったら、メロディと伴奏パートを交換して、親子で一緒に楽しい時間を過ごしてください。

ぼくの曲、ステキでしょ！



マンモススクール・ウェブサイトでは、松井先生によるウクレレのひきかたのコツと『ザ・マンモス・ソング』の演奏を動画でみることができます。

マンモススクール・ウェブサイト

www.mammothschool.com

松井朝敬 1900～1940年代のスウィング、ジャズ、ハワイアンなどを演奏する日本でもめずらしい演奏家。バンド「スウィート・ホリワイアンズ」を率い、日本、アメリカ、ヨーロッパとワールドワイドに活躍している。www.sweethollywaiians.com



愛にあふれたウクレレづくり

1916年から約100年にわたり高品質のウクレレをつくりつけてきたハワイの老舗ウクレレメーカー。職人たちが受け継いできた伝統技術を大切にしながらも、よりよいサウンドや演奏性を日々追求し、そのウクレレの音色はジェイク・シマブクロをはじめとする世界中のミュージシャンやウクレレファンを魅了しつづけています。ハワイアン・コアがつくりだすあたたかみのある深い音色は、まさにハワイアン・ウクレレの源流といえます。

Kamaka Ukulele Standard Model

貴重なハワイアン・コア材を用いた、カマカウクレレの定番シリーズ。子どもから大人まで幅広い層から指示されるソプラノウクレレのHF-1とHP-1。HP-1は、HFよりもまろやかな音が特徴で、パイナップルの形に似ていることからパイナップルウクレレとして長い間親しまれてきました。HF-2はコンサートシリーズで、より本格的にウクレレを楽しみたい方におすすめ。



Kamaka HF-1
Soprano Standard

Kamaka HP-1
Soprano Pinnapple

Kamaka HF-2
Concert Standard

※すべてオープン価格です。

【お問い合わせ】 KAMAKA UKULELE 日本総代理店（株）黒澤楽器店 ☎ 03-5911-0611
www.kamakaukulelejp.com